

平成29年度 施策評価シート

[施策No.] [施策名]		[74] 内外の都市・地域、在住外国人との交流			主管	総務部 都市交流課
施策の概要	長期総合計画体系	[将来像] [基本目標] IV-1. パートナーシップの促進 [小柱] (1)多様な主体が尊重しあえる地域づくり				
	10年後のめざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語や文化、生活習慣などの違いを相互に理解・尊重しあい、だれもが地域の構成員として幸せに暮らせる多文化共生の地域社会が形成されています。 ● 区民が主体となった交流活動により、国内外のさまざまな都市・地域との交流が活性化しています。 				
	主な取り組み	① 在住外国人支援の充実	⑥			
		② 交流活動の促進	⑦			
		③	⑧			
		④	⑨			
⑤		⑩				
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目標 (36年度末)	27年度	28年度
		区に住み続けたいと感じている在住外国人の割合	61.6% (25年度)	増加	61.5%	—
		姉妹友好都市との交流事業数	68事業	増加	71事業	77事業
評価結果	B	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
	A 順調である B 一部課題がある C 課題がある	<p>在住外国人のための取り組みについては、平成27年度より新たに多言語情報紙を作成し、28年度には発行回数を増やすことで情報提供を充実している。また、「外国人のための生活便利帳」の発行に加え、日本語を教授する日本語教室による支援と、日本人向け講座内容の充実によりコミュニケーション意識の醸成を図っている。今後は、外国人と日本人が生活習慣や文化などを理解しあえるよう、交流事業等の実施に取り組み、お互いに住みやすい地域社会を形成する必要がある。</p> <p>国内都市との交流では、姉妹友好都市を含む全国21の自治体が参加するふるさとPRフェスタを開催し、幅広い交流を図るとともに、平成29年4月に新たに3つの自治体と連携に関する協定を結ぶため調整を行った。また、海外都市との交流では、ドイツ旅行代理店視察団を受入れ、区の魅力をプロモーションするなど、交流が順調に広がっている。</p>				
学識経験者からの意見	<p>国際観光都市としての台東区には、様々な国々から外国人が訪れるが、そこには就労や留学を目的として入国・在留する外国人も含まれている。在住外国人の方々が安心して、豊かに暮らせる環境づくりは欠かせない。そのための日本語教室や多言語情報紙の発行、相談窓口の開設等は必要な取り組みであり、言語、民族、文化、宗教等に対する正しい理解に向けた取り組みの一步になっている。</p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、多くの外国人が台東区に訪れることが予想される。来訪者がSNS等により情報発信をした場合、一度に多くの国々へ伝わるメリットとデメリットを有しており、台東区の評価が日本の評価にもなると考えられる。多様な言語、民族、文化、宗教等を正しく理解し、共生していくための交流等の充実は欠くことができないと思われる。NPOなどボランティアに取り組んでいる団体や、在住外国人の人たちを雇用している事業者への支援の充実など、一層の取り組みが必要である。</p>					

施策を構成する行政計画事業の進捗								
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)
1	(235)在住外国人支援	くらしの相談課	外国人相談	960件	目標	300件	330件	330件
			162件		実績	185件	235件	330件
		区民課	外国人とのコミュニケーションのための日本語講座	年11日	目標	11日	11日	11日
			入門編開催日数		11日	11日	11日	
			実践編開催日数		7日	7日	7日	
			7日		7日	7日		
		区民課	多言語情報紙の発行	10回	目標	2回	4回	4回
			—		実績	2回	4回	4回
2					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
4					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
					目標			
					実績			